

学校評価アンケート結果まとめ

会津支援学校

学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました！

アンケートでは、大きく以下の4観点にわたってお聞きしました。

- (1) 学びの変革と充実
- (2) 健康と安全・安心
- (3) 教師の「専門性の向上」
- (4) 地域との「連携・協働」



今回の報告では、4観点別の評価結果を保護者の皆様、評議員、生徒、教職員調査に分け、考察と今後の対応をお知らせいたします。

1 保護者の皆様 評価の結果



＜評価の基準＞

- A：よく当てはまる B：おおむね当てはまる
- C：あまり当てはまらない D：当てはまらない E：分からない

アンケート回収率 小：84名（99%）、中 49名（98%）、高 82名（93%）

（1）学びの変革と充実

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	高等部
項目① 学校は、パソコンやタブレット端末等のICT 機器を効果的に利用したり活用したりして、児童生徒一人一人に合わせた学習ができるような授業を行っている。	A	55	45	40
	B	31	39	46
	C	1	8	5
	D	0	0	1
	E	13	8	7
項目② 学校は、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、年間指導計画や個別の指導計画を活用して授業を行っている。	A	67	61	56
	B	32	39	41
	C	1	0	0
	D	0	0	0
	E	0	0	3
項目③ 学校は、一人一人の児童生徒のキャリア・パスポートを作成・活用し積み上げていくことで、自立と社会参加を目指したキャリア教育を行っている。	A	57	49	41
	B	31	43	45
	C	4	2	5
	D	0	0	0
	E	8	6	9

【まとめ】

- 項目① どの学部も「A」「B」の数値を合わせると84%以上で取組が高く評価されましたが、「E」の回答も10%前後見られました。ICT 機器の活用について、学習の中でどのように活用しているか連絡帳やホームページ等でお伝えしていきます。
- 項目② 全ての学部において97%以上の評価をいただきました。
- 項目③ どの学部も高い評価となっていますが、キャリア・パスポートの周知に課題がありました。実際に見ていただく機会を設けるなど、理解推進を図ってまいります。

(2) 健康と安全・安心

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目④ 学校は、医師・看護師・保護者等と情報を共有して事故を防ぐとともに、児童生徒一人一人の健康課題が解決できるよう、健康教育を行っている。	A	62	69	53
	B	30	31	37
	C	4	0	2
	D	0	0	1
	E	4	0	7
項目⑤ 学校は、避難訓練や交通安全教室など、危険や災害等から児童生徒が主体的に身を守るための安全教育や防災教育を行っている。	A	76	71	68
	B	23	29	27
	C	0	0	0
	D	0	0	0
	E	1	0	5
項目⑥ 学校は、児童生徒の気持ちに寄り添いながら人権尊重の意識を高めるとともに、いじめ・虐待等の早期発見・早期対応をしている。	A	57	63	53
	B	31	24	35
	C	1	0	2
	D	0	1	1
	E	11	12	9

【まとめ】

項目④ どの学部も「A」「B」の評価を合わせると90%以上の結果となりました。一方、記述での御意見が最も多く、今後一層、情報共有や健康課題について取り組んでまいります。

項目⑤ 95%以上の高い評価となりました。

項目⑥ 「E」の回答が10%前後見られました。いじめ・虐待等の対応についての情報共有に今後も努め児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにしていきます。

(3) 教師の「専門性の向上」

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑦ 学校は、職務や研修を通して、教師としての資質向上に努めている。	A	54	55	48
	B	29	31	37
	C	2	0	2
	D	0	0	0
	E	15	14	13
項目⑧ 会津地域にある特別支援学校として、セミナーや研修を企画し、地域全体の専門性を高めることに努めている。	A	54	45	48
	B	33	35	41
	C	1	2	2
	D	0	0	0
	E	12	18	9

【まとめ】

項目⑦⑧ 「E」が多く見られました。教員の研修やセミナー等は保護者の皆様に見えにくいことが要因だと思われます。今後も、ホームページ等で伝えていくよう努めてまいります。

(4) 地域との「連携・協働」

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑨ 学校は、校内の保護者への教育相談やホッとサークルを実施したり、地域の障がいのある子どもへの早期支援（あそびの教室）や相談支援を行ったりして、特別支援教育に	A	58	55	49
	B	33	37	39
	C	4	2	4
	D	0	0	1

関する情報を提供し、誰一人取り残さない教育体制を作っている。	E	5	6	7
項目⑩ 学校は、地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を行い、障がいのある児童生徒の理解推進に努めている。	A	48	57	50
	B	39	37	41
	C	6	2	4
	D	0	0	1
	E	7	4	4
項目⑪ 学校は、福島県立博物館や只見線、関連機関、企業等の地域資源を有効に活用し、地域の一員として社会参加する基盤の整備の推進に努めている。	A	55	63	53
	B	33	29	40
	C	0	0	0
	D	1	0	1
	E	11	8	6
【まとめ】				
項目⑨ 「A」「B」を合わせ90%近い数値となっております。センターあいつでは、常時、保護者の方からの相談を受けておりますので、気軽に職員にお声掛けください。				
項目⑩ 文化祭では600名以上、「学校へ行こう週間」では200名以上の来校があり、地域や御家族の方々に学校へ足を運んでいただきました。				
項目⑪ 福島県立博物館との連携授業、只見線学習列車の活用と充実した教育活動を実施することができました。今後もホームページ等で学校の様子を発信し続け、障がいのある子どもへの理解推進や社会参加の基盤整備に努めてまいります。				

2 教職員 評価の結果



<評価の基準>

A…十分達成 B…おおむね達成
C…不十分 D…達成していない

アンケート回収率 125名(98%)

(1) 学びの変革と充実

【各項目の評価結果】	評価		%
項目① 学校は、学びの変革を実現するために、ICT 機器を効果的に利活用し、「個別最適化された学び」や「協働的な学び」、「探究的な学び」の充実に努めている。	A	16	
	B	81	
	C	3	
	D	0	
項目② 学校は、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、年間指導計画や個別の指導計画を活用し、授業実践・評価・改善に努めている。	A	19	
	B	80	
	C	1	
	D	0	
項目③ 学校は、すべての学部においてキャリア・パスポートを作成・活用し、自立と社会参加を目指す系統的なキャリア教育を推進している。	A	6	
	B	74	
	C	20	
	D	0	
【まとめ】			
項目① 全体的におおむね達成しているという結果となりました。			
項目② 更なる授業改善に努め、分かる・できる・楽しい学習を実践していきます。			
項目③ 20%が「C：不十分」であると回答しており、キャリア・パスポートの活用についての課題が挙げられました。職員の理解と意識向上を目指し、系統的なキャリア教育の推進に努めます。			

(2) 健康と安全・安心			
【各項目の評価結果】			%
	評価		
項目④ 学校は、医師・看護師・保護者等と情報を共有して事故を防ぐとともに、児童生徒一人一人の健康課題が解決できるよう、健康教育の充実に努めている。	A	24	
	B	72	
	C	2	
	D	2	
項目⑤ 学校は、危険や災害から児童生徒が主体的に身を守るための安全教育・防災教育の充実に努めている。	A	23	
	B	75	
	C	2	
	D	0	
項目⑥ 学校は、発達支持的生徒指導によって人権尊重の意識を高めるとともに、いじめ・虐待等の早期発見・早期対応に努めている。	A	25	
	B	74	
	C	1	
	D	0	
【まとめ】			
項目④ 危機管理マニュアルの見直しや緊急時対応研修会の実施により、緊急時の対応の見直しを行いました。児童生徒の安全・安心を第一に、事故防止に努めてまいります。			
項目⑤ 交通安全教室や避難訓練を実施し、子どもたち自身にも防災意識をもてるように指導を進めています。			
項目⑥ いじめアンケートを小学部5・6年生も対象としたことで、児童生徒自身が人権尊重について考える良い機会となっています。			

(3) 教師の「専門性の向上」			
【各項目の評価結果】			%
	評価		
項目⑦ 学び続ける教師として、職務や研修を通して、指標のステージ（経験年数）に基づく資質能力の向上に努めている。	A	18	
	B	77	
	C	5	
	D	0	
項目⑧ 教員は、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の実施による成果を、教育活動に還元している。	A	12	
	B	78	
	C	10	
	D	0	
項目⑨ 学校は、連続性のある多様な学びの場を実現するために、地域の特別支援教育の振興に貢献している。	A	20	
	B	78	
	C	1	
	D	1	
【まとめ】			
項目⑦ 95%の教員が自分の指標ステージを意識して学び続け、能力向上に努めています。			
項目⑧ 教職員一人一人が様々な研修を受講しております。個人として教育活動に還元できても周りの教職員との共有ができていくか、ということが課題として挙がりました。			
項目⑨ 保護者セミナーや進路セミナー、特別支援教育研究会会津大会等を実施しました。次年度も、保護者や地域の方々にとって有意義なセミナーや講演会等を企画していく予定です。			

(4) 地域との「連携・協働」			
【各項目の評価結果】			%
	評価		
項目⑩	A	28	
	B	70	

学校は、地域のセンター的機能の役割を果たし、誰一人取り残さない教育体制を構築するため、特別支援教育に関する情報を提供している。	C	2
	D	0
項目⑪ 学校は、地域の小、中学校、高等学校との交流及び共同学習を推進し、障がいのある児童生徒の理解促進に努めている。	A	16
	B	75
	C	8
	D	1
項目⑫ 学校は、福島県立博物館や関連機関・企業等の地域資源を活用し、地域の一員として社会参加する基盤整備を促進している。	A	28
	B	71
	C	1
	D	0
【まとめ】		
項目⑩ こども園などの未就学児から高等学校在籍生徒まで困り感を抱えている幼児児童生徒やこども園・小・中学校・高等学校の先生方、福祉関係の方々などに特別支援教育に関する情報を提供しています。		
項目⑪ 神指小学校や学鳳中学校、会津工業高校等、また居住地校との交流及び共同学習を実施することができました。引き続き、「地域で共に学び、共に生きる」社会を目指し、工夫して進めてまいります。		
項目⑫ 会津の豊かな地域資源の活用が継続的に実施できています。活動の様子等はホームページをご覧ください。		

3 生徒による 評価の結果



<評価の基準>

はい いいえ わからない

アンケート回収率 中：25名（96％） 高：62名（94％）

中学部生徒、高等部生徒			
【各項目の評価結果】			
	評価	中学部	% 高等部
項目① 学校（学級）は楽しいですか。	はい	96	88
	いいえ	0	6
	わからない	4	6
項目② 授業は分かりやすいですか。	はい	96	91
	いいえ	4	6
	わからない	0	3
項目③ 授業で友達と話し合ったり、協力し合ったりして参加することができていますか。	はい	80	91
	いいえ	4	6
	わからない	16	3
項目④ 学校の授業でパソコンやタブレット、テレビなどのICT機器を使った学習は分かりやすいですか。	はい	100	92
	いいえ	0	3
	わからない	0	5

項目⑤ 校外学習や交流学习で、地域のことを知ったり、地域の人々と関わったりすることができましたか。	はい	100	79
	いいえ	0	10
	わからない	0	11
項目⑥ 先生は、卒業後の進路について、分かりやすく教えてくださいますか。	はい	76	87
	いいえ	8	3
	わからない	16	10
項目⑦ 将来の自立に向けて、作業学習や校内実習、現場実習に意欲的に参加することができましたか。	はい	100	90
	いいえ	0	3
	わからない	0	7
項目⑧ 元気にあいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりして生活していますか。	はい	80	92
	いいえ	8	3
	わからない	4	5
項目⑨ 交通安全教室や避難訓練は、自分を守るために役立っていますか。	はい	96	94
	いいえ	0	0
	わからない	4	6
項目⑩ 先生は、うがいや手洗いの仕方、身体の成長、病気やけがの予防について分かりやすく教えてくださいますか。	はい	96	92
	いいえ	4	2
	わからない	0	6
項目⑪ 学校の建物や設備は、安全で安心して生活できる場になっていますか。	はい	100	92
	いいえ	0	2
	わからない	0	6
項目⑫ 学校で、元気に体を動かすことができますか。	はい	96	86
	いいえ	0	6
	わからない	4	8
項目⑬ いじめやトラブル、携帯電話・SNSなどの問題について、気軽に先生に相談できますか。	はい	96	76
	いいえ	0	12
	わからない	4	12
項目⑭ 先生は、あなたの家族とよく話をしていますか。	はい	100	87
	いいえ	0	5
	わからない	0	8
項目⑮ 先生は、あなたの話をよく聞いてくれますか。	はい	100	98
	いいえ	0	0
	わからない	0	2
項目⑯ 学級通信や学校のホームページを見ていますか。	はい	84	64
	いいえ	12	30
	わからない	4	6

【まとめ】

- 1 中学部・高等部ともに、1項目を除いて76%を超える高い評価となりました。学校生活が充実したものとなっていることが伺えます。
- 2 高等部生徒においては、項目⑨⑯を除いた全ての項目に「いいえ」の回答が見られます。「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」と感じられるよう引き続き工夫を重ねてまいりたいと思います。
- 3 中学部・高等部ともに「いいえ」と回答した生徒が多かった項目⑯については、生徒にとって更に分かりやすい内容にしていくよう努めていきます。

4 評議委員の皆様 評価の結果



<評価の基準>

A：よく当てはまる B：おおむね当てはまる
C：あまり当てはまらない D：全く当てはまらない E：分からない

アンケート回収率 5名（83%）

(1) 学びの変革と充実		
【各項目の評価結果】	評価	%
項目① 学校は、パソコンやタブレット端末等のICT 機器を活用し、児童生徒一人一人に合わせた学習や協働的・探究的な学習ができるような授業を行っている。	A	60
	B	40
	C	40
	D	0
	E	0
項目② 学校は、児童生徒の教育的ニーズを把握し、個別の指導計画を活用して学びを積み上げ、一人一人に合わせた指導・支援を行っている。	A	20
	B	80
	C	0
	D	0
	E	0
項目③ 学校は、自立と社会参加を目指し、一人一人の児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育を行っている。	A	50
	B	50
	C	0
	D	0
	E	0
(2) 健康と安全・安心		
【各項目の評価結果】	評価	%
項目④ 学校は、心身の健康を保持し、安全で快適な生活ができるよう十分に健康教育を行っている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
	E	0
項目⑤ 学校は、危険や災害等から身を守るため、交通安全教室や避難訓練等の安全教育・防災教育を行っている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
	E	0
項目⑥ 学校は、関係機関と連携し、いじめ・トラブル・不登校・虐待等の未然防止た早期発見・早期対応をしている。	A	80
	B	20
	C	0
	D	0
	E	0
(3) 教師の「専門性の向上」		
【各項目の評価結果】	評価	%
項目⑦ 教員は、研修等を行い、教師としての専門性の向上に努めている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
	E	0

項目⑧ 教員は、指導力向上のため、研修に積極的に参加し、その成果を教育活動に生かしている。	A 40 B 60 C 0 D 0 E 0
項目⑨ 会津地域にある特別支援学校として、セミナーや研修会を企画し、地域全体の特別支援教育の専門性を高めることに努めている。	A 60 B 40 C 0 D 0 E 0
(4) 地域との「連携・協働」	
【各項目の評価結果】	%
	評価
項目⑩ 学校は、校内の保護者への教育相談やホッとサークルの周知を図ったり、地域の障がいがある子どもへの早期支援（あそびの教室）や相談支援を行ったりして、誰一人取り残さない教育体制を作っている。	A 40 B 60 C 0 D 0 E 0
項目⑪ 学校は、地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を行い、地域の一員として社会参加する基盤づくりに努めている。	A 60 B 40 C 0 D 0 E 0
項目⑫ 学校は、福島県立博物館や只見線等の地域資源を有効に活用し、教育活動の充実を図っている。	A 60 B 40 C 0 D 0 E 0
【評議員からの御意見】 <input type="checkbox"/> 引き続き地域との連携・協働に力を入れていただければと思います。 <input type="checkbox"/> 項目①と③は定期的に参観しないと評価として難しい項目です。	

その他、貴重な御意見をたくさんいただきました。来年度へ向けて関係部署で十分話し合い、教育活動へ反映していきたいと思ひます。

